

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	野生動植物資源管理・利用ネットワーク事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	野生生物課		課長 亀澤 玲治		
会計区分	一般会計		施策名	5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	生物多様性基本法 第14・15・17・18条 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存にかかる法律 第2条 等		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の野生動植物資源(特に絶滅のおそれのある野生動植物)及びその分布・遺伝子情報等関連する情報を持続的かつ効率的に利用するための情報基盤の整備を図る。あわせて、これらの資源の基盤となっている我が国の生物多様性を持続的に保つために、数が少なく絶滅のおそれのある野生動植物に関して遺伝子レベルも考慮した保全の在り方の改善を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国の遺伝子情報等も含め野生動植物資源を持続的に管理・利用するために、以下の事業を実施する。 (1)野生動植物資源管理・利用ネットワーク構想の策定 (2)野生動植物資源に関する国内外の情報収集調査 (3)野生動植物資源管理・利用データベースシステム検討							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	160	126	30	-	
		補正予算	-	0	0	0	-	
		繰越し等	-	0	0	0	-	
		計	-	160	126	30	-	
	執行額	-	136	125				
執行率(%)	-	85	99					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	我が国の野生動植物資源の関連情報を持続的かつ効率的に利用するための情報基盤等の整備が目標であるが、現在どのようにネットワークを構築するのが効果的・効率的か等検討している段階であり、定量的な成果目標を出すことは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	H23年度はネットワーク構想策定のための考え方の整理、データベースの構築の検討、国内希少野生動植物種の保護のための具体的な遺伝子情報の収集解析等を行った。種によって状況が異なる野生動植物資源の情報収集等を見直しを常に行いつつ業務を行う必要があるため、定量的な活動指標を示すことは困難。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たり コスト	各活動実績についてはまとめて契約し業務執行をしており、実績毎に費用を分割して算出することは困難であるため、単位あたりコストは示していない。		算出根拠	-				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	30	-					
	計	30	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民全体の資源である野生動植物、特に絶滅危惧種の保全にかかる調査であり、国が行うべき優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	絶滅危惧種の保護に関わる情報収集・調査等特異な分野であるが、可能な事業に関しては公募を行い競争性等確保に努めている。また事業目的に即し、真に必要な事業に限定し、コストの削減等も行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果物に関して関係各部署に配布し共有する他、内容に応じて記者発表し、HPでダウンロードする等充分に活用できるようにしている。今までに出た成果については希少種の保護管理の他、国立公園の管理等他部局の業務にも役立っており、部局同士の連携を取れたことも含め十分な成果を上げていると考えられる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	野生動植物資源管理に関する情報の収集整備及び国内希少野生動植物種の遺伝情報の収集解析等は、絶滅危惧種の保全における基礎的な資料であり、得られた成果を保全に有効活用していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当初の目的を達成するため、平成24年度限りで廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	平成24年度限りで廃止。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	153

※平成23年度実績を記入

環境省
125百万円

<総合評価、参加者確認公募、企画競争、複数年にわたる企画競争に基づく随意契約、少額随意契約>

A.日本植物分類学会等(6件)
80百万円

【内容】
・野生動植物資源管理・利用データベースの検討
・希少野生動植物資源にかかる情報整備及び分析業務
・希少野生植物の全国的な分布等調査等

地方環境事務所等(6箇所)
45百万円

釧路自然環境事務所
6百万円

<参加者確認型公募、随意契約>

B.(株)猛禽類医学研究所等(5件)

【内容】
・シマフクロウ遺伝的多様性分析
・道東地域における希少鳥類資料整理
・オシロワシ遺伝的解析資料収集及び解析等

関東地方環境事務所
18百万円

<企画競争>

C.(独)森林総合研究所等(2件)
18百万円

【内容】
・小笠原諸島の植物の遺伝子多様性調査
・トキの遺伝的多様性分析

長野自然環境事務所
1百万円

<随意契約>

D.国立大学法人信州大学
1百万円

【内容】
・ライチョウの遺伝子情報解析

近畿地方環境事務所
1百万円

<随意契約>

E.国立大学法人京都大学
1百万円

【内容】
・アユモドキの遺伝的多様性分析

九州地方環境事務所
9百万円

<一般競争入札、企画競争、随意契約>

F.(有)パイアンドジィ等(11件)
9百万円

【内容】
・ツシヤママネコ遺伝的解析による個体識別手法検討業務
・霧島屋久国立公園内の希少野生植物資源等の分布状況調査
・ツシヤママネコ等希少野生動物資源にかかる情報収集機器整備

那覇自然環境事務所
10百万円

<一般競争入札、総合評価>

G.パイオニア電設(株)等(3件)
10百万円

【内容】
・ヤンバルクイナの遺伝情報解析
・イリオモテヤマネコ等希少野生動物資源にかかる情報収集機器整備
・西表石垣国立公園内の希少野生植物資源等の分布状況調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.日本植物分類学会			E.国立大学法人京都大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	26		本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1
計		26	計		1
B.(株)猛禽類医学研究所			F.(有)ピアンドジ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	オジロフシ遺伝的解析試料収集にかかる捕獲等業務	0.9	備品費	ツシマヤマネコ等希少野生動物資源にかかる情報収集機器整備	4
人件費		0.4			
一般管理費		0.2			
消費税		0.1			
借料及び損料		0.1			
旅費		0.02			
印刷製本費		0.02			
計		1.7	計		4
C.(独)森林総合研究所			G.バイオニア電設(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	補助員	1.6	備品費	イリオモテヤマネコ等希少野生動物資源にかかる情報収集機器整備	5
旅費	調査旅費等	0.9			
雑役務費	船、バイク借上げ料等	0.3			
消耗品費	サンプル収集・整理用品、試薬	4.7			
印刷製本費	調査報告書	0.1			
外注費	智島列島採集、母島属島採集、遺伝解析	3.9			
一般管理費		1.2			
消費税		0.6			
計		13.3	計		5
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本植物分類学会	絶滅危惧植物の分布状況等調査	26	参加者確認 公募複数年	-
2	(財)自然環境研究センター	野生動植物資源管理・利用データベースの検討	20	1	94
3	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物資源にかかる情報整備及び分析業務	18	1	98
4	(財)自然環境研究センター	絶滅危惧植物種子の収集・保存推進調査	14	随意契約(企画)	-
5	(財)自然環境研究センター	絶滅危惧動物の分布状況等調査	0.96	随意契約(少額)	-
6	(財)自然環境研究センター	絶滅危惧植物の分布情報作成業務	0.93	随意契約(少額)	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)猛禽類医学研究所	オジロワシ遺伝的解析試料収集にかかる捕獲等業務	2	1	99.2
2	(財)日本鳥類保護連盟	シマフクロウ遺伝的多様性分析	0.98	随意契約(少額)	-
3	(財)日本鳥類保護連盟	希少鳥類試料整理	0.95	随意契約(少額)	-
4	北海道鳥類保全研究会	オジロワシ遺伝的解析試料収集	0.93	随意契約(少額)	-
5	北海道鳥類保全研究会	オジロワシ遺伝的多様性分析	0.92	随意契約(少額)	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)森林総合研究所	小笠原諸島広域分布種に関する遺伝的変異の解析調査業務	13	企画競争	-
2	国立大学法人京都大学	トキの遺伝的多様性分析	5	企画競争	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人信州大学	ライチョウの遺伝的多様性分析	0.98	随意契約(少額)	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人京都大学	アユモドキの遺伝的多様性分析	1.3	随意契約	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)ブイアンドジ	ツシマヤマネコの健康管理に必要な医療機器の購入	4	1	100
2	(株)アドプランツコーポレーション	霧島屋久国立公園内の希少野生動植物資源等の分布調査	2	企画競争	-
3	(財)自然環境研究センター	ツシマヤマネコ遺伝的解析による個体識別手法検討業務	0.9	随意契約(少額)	-
4	(有)ビデオプラザ	ツシマヤマネコの健康管理に必要な監視カメラ等の購入	0.8	随意契約(少額)	-
5	梅野 与助	ヤマネコ捕獲罠の購入	0.5	随意契約(少額)	-
6	長崎ビニール工業(株)	ツシマヤマネコ交通事故防止ステッカー印刷	0.3	随意契約(少額)	-
7	(株)ベスト電器	EPSONスクリーン等の購入	0.1	随意契約(少額)	-
8	古藤 好久	対馬野生生物保護センターヤマネコ小屋改修	0.02	随意契約(少額)	-
9	山本 泰伸	対馬野生生物保護センター展示室ガラス改修	0.01	随意契約(少額)	-
10	(株)朝日酸素商会	医療酸素ガスの購入	0.004	随意契約(少額)	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	バイオニア電設(株)	イリオモテヤマネコ等希少野生動物資源にかかる情報収集機器整備	5	2	80.9
2	いであ(株)	西表石垣国立公園の希少野生動植物資源等の分布状況調査	3	1	96
3	(独)国立環境研究所	ヤンバルクイナの遺伝的多様性分析	2	1	84.8